

2022年11月15日
地域アーカイブ部会

デジタルアーカイブ学会地域アーカイブ部会シリーズ研究会

藤本蚕業歴史館で学ぶ

デジタルアーキビスト養成リスキル/リカレント講座

【詳細版】

地域資源のデジタルアーカイブ化とその活用は、地域の歴史文化・学習環境・地域づくり活動など地域社会のありようを根本から変える DX（デジタルトランスフォーメーション＝社会のデジタルに対応した変容）の根幹となります。それを担う人材育成が本講座のねらいです。リタイアされた方々にとってはリカレント（学び直し）な学習、教員・文化施設職員などにとってはリスキル（スキル・知識の新たな獲得）の学習機会となります。藤本蚕業歴史館（長野県上田市）をフィールドに地域資料を用いて主体的に探求的な学びができる地域キュレーター、地域資源のデジタルアーカイブ化が計画・構築できるデジタルアーキビストを目指す講座としてオンライン形式で開催します。

▼実施体制等

主催：藤本蚕業プロジェクト（代表：前川道博 長野大学企業情報学部教授）

共催：デジタルアーカイブ学会地域アーカイブ部会、岐阜女子大学

協力：藤本蚕業歴史館、上田小県近現代史研究会、長野大学、上田市マルチメディア情報センター

後援(予定)：国立国会図書館、長野県、長野県教育委員会、県立長野図書館、上田市、上田市教育委員会、日本教育情報学会デジタルアーカイブ研究会、日本デジタルアーキビスト資格認定機構

この事業は長野県地域発元気づくり支援金事業の助成を得て実施します。

▼講座のねらい

- ①地域キュレーター（知識循環型社会の恩恵を活かした生涯学習者）の養成
・知識循環型社会に対応し、既知の知識・学問分野にとらわれず、生涯にわたり生きがいをもって探求できる生涯学習者を養成する。
- ②デジタルアーキビスト養成
・地域資料を地域づくり、地域学習等に役立てるためのデジタルアーカイブを企画・実施で

きるデジタルアーキビストを養成する。

③地域資料デジタルアーカイブ活動のコミュニティづくり支援

・「藤本蚕業」をベースに地域キュレーション、地域デジタルアーカイブ企画運営ができるコミュニティおよびネットワークをつくる。

▼講座形態

リアルタイムオンラインによる受講形式 Zoom 利用

▼その他

詳しくはウェブで→<https://d-commons.net/uedagaku?c=&p=11252>

受講料：無料

定員：定員はありません

毎回の講座内容はビデオ収録し、後日、ネットでオンデマンド配信します。

実践講座 1：地域資料活用によるキュレーション講座

▼ねらい

社会のデジタル化が進み社会が知識循環型に進みつつあります。しかし地域資料のデジタル化は全国的にまだ足踏みした状況にあります。本講座では、デジタル化した地域資料を参照してどのように地域探求が進められるかを長野県上田市にある私設施設「藤本蚕業歴史館」をフィールドに学びます。座学中心の生涯学習から学習者主体のキュレーション型学習を始める学習機会とします。

キュレーション型学習：学習者のインタレストに基づき、探求テーマを定め、一次資料を参照しながら探求・考察した成果をアウトプット化することにより知識へと高める学習方法。

▼日程とプログラム

①12月10日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの活用

②12月17日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業所蔵資料で近現代のキュレーション

③1月14日(土) 13:00～16:00 皆さんのキュレーション披露会

(最終回は講座終了後希望者対象にデジタルアーカイブクリエイター認定実施 16:30～17:30)

▼受講申込

講座1 受講申込フォームからお申込みください→ <https://mmdb.net/fujimoto/form1.html>

▼講座プログラム詳細

★第1回 12月10日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの活用

10:00 地域アーカイブの課題

10:10 講座のねらいと概要

10:20 受講者の自己紹介

10:30 藤本蚕業歴史館・概要

10:45 藤本蚕業歴史館・館内見学

- 11:10 近現代へのいざない：蚕種製造業と藤本蚕業
(12:00 休憩)
- 13:00 資料群を手にとって閲覧する (実習)
- 14:00 資料ネット公開の留意点
(14:20 休憩)
- 14:30 受講者の皆さんがそれぞれに探求したい仮のテーマ、Q & A
- 15:30 次回に向けて：アドバイスや補足事項
- 16:00 終了
- ★第2回 12月17日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業所蔵資料で近現代のキュレーション
- 10:00 一次資料を使ったキュレーションのいざない
- 10:15 キュレーション実例紹介
- 10:45 近現代を捉える視点
(12:00 休憩)
- 13:00 『藤本蚕業デジタル資料館』
- 13:30 キュレーションの方法、d-commons.net を使ったマイサイト実習
(14:20 休憩)
- 14:30 資料の分類とメタデータ
- 15:00 著作権と資料の権利処理
- 15:30 キュレーション披露会に向けて
- 16:00 終了
- ★第3回 1月14日(土) 13:00～16:00 皆さんのキュレーション披露会
- 13:00 はじめに
- 13:10 キュレーション披露会1
(14:20 休憩)
- 14:30 キュレーション披露会2
- 15:30 講評コメント

実践講座2：地域資料のデジタルアーカイブ化講座

▼ねらい

地域の一次資料はその地域を発見し歴史をひもとく情報源となります。知識循環型社会においては、機関か個人か、研究者か学習者かに関わりなく、それぞれが相互に一次資料を共有し合い、一次資料のより一層の活用、相互の知識授受が行えることが望まれます。本講座では、地域の一次資料をどうするとデジタルアーカイブ化ができるかを長野県上田市にある私施設「藤本蚕業歴史館」をモデルケースに学びます。博物館・図書館・文書館・学校・大学・企業・地域コミュニティ等において既存の活動や資料等のデジタル化をこれからの地域づくり、地域学習に地域資料をどう活かすことができるか、またそのようなデジタルアーカイブ構築ができるかを学習します。

▼日程とプログラム

- ① 2月4日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの課題
- ② 2月5日(日) 10:00～16:00 地域資料デジタルアーカイブの構築に向けて
- ③ 2月18日(土) 13:00～16:00 皆さんのデジタルアーカイブ/地域学習企画披露会
(最終回は講座終了後希望者対象にデジタルアーカイブクリエイター認定実施 16:30～17:30)

▼受講申込

講座2 受講申込フォームからお申込みください→ <https://mmdb.net/fujimoto/form2.html>

▼講座プログラム詳細

★第1回 2月4日(土) 10:00～16:00 藤本蚕業歴史館に学ぶ地域アーカイブの課題

- 10:00 講座のねらいと概要
- 10:15 藤本蚕業歴史館・概要
- 10:30 藤本蚕業歴史館・デジタルツインによる館内見学
- 11:00 藤本蚕業の史料整理をふり返る
(12:00 休憩)
- 13:00 史料整理の課題と方法～藤本蚕業所蔵資料を例に～
- 14:00 史料目録の作成
- 15:00 受講者の皆さんのデジタルアーカイブ構築課題
- 16:00 終了

★第2回 2月5日(日) 10:00～16:00 地域資料デジタルアーカイブの構築に向けて

- 10:00 デジタルアーカイブ構築の課題と方法
- 10:30 地域デジタルコモンズの設計とサービス
- 11:00 デジタルアーカイブの構築
(12:00 休憩)
- 13:00 地域学習ニーズに応えるアーカイブサイトのデザイン

14:00 デジタルアーカイブ公開に向けたガイドライン

(14:20 休憩)

14:30 ジャパンサーチへの連携に向けたサイトの構築

15:00 デジタルアーカイブ構築の企画立案・実践・Q&A

16:00 終了

★オンデマンド講座

・資料の分類とメタデータ 30分

・著作権と資料の権利処理 30分

・佐藤家住宅（上田市上塩尻）見学会（10/29実施）録画オンデマンド版

・蚕種の里「上塩尻」まちあるき（11/26実施）録画オンデマンド版

★第3回 2月18日(土) 13:00~16:00 皆さんのデジタルアーカイブ/地域学習企画披露会

13:00 はじめに

13:10 デジタルアーカイブ企画・実践披露会1

(14:20 休憩)

14:30 デジタルアーカイブ企画・実践披露会2

15:30 講評コメント

16:00 終了

藤本蚕業歴史館とその資料

藤本蚕業は、江戸時代中期から蚕種業を代々の生業とした佐藤宗家（上田市上塩尻）が明治期に興した企業体を指します。激動の近現代の中で企業体の変遷をたどりました。日本一の蚕種製造地であった上田小県（現在の上田市を中心とした地域）の中でも佐藤宗家（代々の当主が藤本善右衛門を踏襲）が蚕種業を牽引しました。藤本蚕業歴史館は佐藤宗家と藤本蚕業の一次資料を保管する文書館です。所蔵資料は悉皆の資料である点に特色があります。

藤本蚕業所蔵資料のデジタル化

現在、藤本蚕業プロジェクト（長野大学前川研究室を中心とする地元プロジェクトチーム）が既に目録化・整理された資料を対象に企業化後の所蔵資料のデジタル化を進めています。所蔵資料は蚕種業の実際をひもとく一次資料として貴重であるだけでなく、近代における企業活動の実情を詳細に知る生な記録となっています。その時代時代の新聞・雑誌・書籍等は近代の日本の姿を引き出すタイムカプセルです。一次資料がデジタル化・公開されることにより、誰もが教科書や歴史書から歴史を受け売りしてきた学びから、歴史を発見し自ら編纂（キュレーション）できる学びへ転換できるようになります。資料のデジタル化は省力化し、誰もが関わることにより、外部委託（多くが業者丸投げ）に依存しない主体的で探求的な地域資料のデジタル化ができます。当該プロジェクトでは、そのモデルづくりをすることにより、誰もが地域資料のデジタルアーカイブ化に取り組み、形にできる地域アーカイブ活動の実践モデルを構築していきます。

本講座は、そのノウハウ、知見をこれからデジタルアーキビスト、地域キュレーター（第二の人生で地域探求を生涯学習として実践する方を想定）を目指す方々を後方支援するものです。

▼公開サイト

『藤本蚕業デジタルアーカイブ』 <https://d-commons.net/fujimoto-archive/> (公開準備中)

資格認定へのステップアップ

本講座を受講した方は日本デジタルアーキビスト資格認定機構が定めるデジタルアーカイブクリエイター（下記④）の認定を受けることができます（認定料 5,000 円）。認定については希望者に別途お知らせいたします。

より上級の認定資格（下記①②③）を得る場合は岐阜女子大学等、同機構が認定する大学等で必要単位を取得することが必要です。

▼資格認定へのステップアップ

日本デジタルアーキビスト資格認定機構では次の4つの認定資格を設けています。

- ① 上級デジタルアーキビスト
- ② デジタルアーキビスト
- ③ 準デジタルアーキビスト
- ④ デジタルアーカイブクリエイター

地域資料デジタルアーカイブ活動のコミュニティづくり

本講座期間中は受講者を主な参加メンバーとし、オンラインコミュニティをオフィスアワーとして、講座終了後は持続的なオンラインコミュニティとして学習コミュニティ（寺子屋のようなもの）をつくります。Google Classroom の利用を予定しています。

地域アーカイブの課題解決に向けた連携支援の課題提起

地域活動・資料のデジタルアーカイブ化は弱小な体制で行われることが多く、永続的な保全、利用者数の拡大といった面での課題を例外なしに抱えています。この課題解決に応えるため、そのone of themでもある本アーカイブサイト『藤本蚕業デジタルアーカイブ』がジャパンサーチ、また各地域のつなぎ役となるアーカイブサイトへの連携を具体的にどのように進めていくことができるか、その解決に向けた方向性を皆様と共に考えます。

【本件に関するお問合せ】

講座責任者 前川道博（長野大学企業情報学部教授、藤本蚕業プロジェクト代表）

〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1 長野大学

Mail：maekawa◆nagano.ac.jp（◆は@に置き換えてください。）

TEL：090-2270-5074